本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル
電話 03(3343)1846(代)
FAX 03(3348)1890
振替口座 東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年 5,000円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

《品質本位》のうすくち
ヒガシマル醤油
＊ヒガシマル醤油株式会社

50年の「恨」を晴らせ！

韓国遺族会から36人来日

「アジア太平洋戦争韓国人犠牲者補償請求」訴訟

良心の謝罪をせよ！
日本の正義と道義を問う

「アジア太平洋戦争韓国人犠牲者補償請求」訴訟の第二回口頭弁論が、六月一日行われた。これにあわせ、韓国の太平洋戦争犠牲者遺族会から三十六人が来日（うち原告十九人）。この日午前の口頭弁論のあと、デモ、国会議員と会うなどのスケジュールのあと、午後六時から、カンダパンセホールで報告集会が開かれた。

神田パンセの集会で壇上に並んだ来日した原告たち

この朝、早くから傍聴のため二百人近くの人が並んだ。法廷では原告の中から原告団代表の金鐘大さん（父がパラオに強制徴用され死亡）、朴七封さん（父の代りに軍属として徴用、満州で徴兵）、金田きみ子さん（当時の通名。軍隊慰安婦）が証言。原告には九人の元・軍隊慰安婦がいるのが本名で提訴しているのは五名。匿名が三名、一名が通名。提訴にふみ切った人でも本名を出せない人が多いのは、この問題の深刻さを物語る。この日の金田さんの証言は――「父は教会の牧師で、神社参拝をしないといって特高に追われ、家族はちりぢりになり、私はよその家の子守りなどして暮らした。十七歳の時、友人に工場に行って金もうけしようと誘われソウルに行った。韓国人少女十五人ほどがいて、日本人の男に中国の天津から三時間ほどのところへ連れて行かれた。そこにはすでに韓国人少女が二十人ほどおり、軍人だらけなので驚き〝工場へ行くはずですが〟という〝だまれ〟、といい部屋を割りあてられた。私が拒否すると軍人が胸を銃剣で刺した。私は苦痛にたえかね阿片に手を出した。父が牧師だったという部隊長に助けられ釜山に帰ったが、家族は誰もおらず、ただ一人残っていた祖母が阿片中毒を直してくれた。帰って八カ月目に戦争が終わった。戦後、子宮が抜けるように痛くなり、釜山の病院で全摘手術を受けた……結婚もできず、家族もなく、家もなく、その日を暮らすだけ。誰のために私はこうなったのか。私の一生をめちゃめちゃにした日本が、今なんで大手をふっているのか」。

報告集会では主任弁護人の高木健一さんが「戦後補償の問題は、国論を二分する形になっている。反発する人の意見は、①日本人もみな苦労した②補償の問題は日韓条約で解決ずみである。だ。これらの意見を論理的に克服するために、苦労させたのは日本人であり、人道に対する罪だということを認識しなければならない。日韓条約で解決したのは国と国であり、個人の権利は残っている。今、日本人に問われているのは、日本の正義の回復、道義ある国家を作ることができるかどうかの問題だ」と裁判の意義を語った。

このあと遺族会の人々の発言、証言があったが、なんといっても会場をシーンとさせたのは、四人の元・軍隊慰安婦（昨年暮来日し証言した金学順さんは、この夜疲労のため宿でやすんでいて不参加）たちが、弁護士の福島瑞穂さん、日本の戦後責任をハッキリさせる会の臼杵敬子さんの問いに答える形で証言したとき。

「日本から踏みにじられた私たちだが、裁判所の門をくぐったとき、何十年胸につかえていたものが落ち、感慨と喜びを感じた。今こそ何十年の恨をときあかしたい」

「家庭もなく、母とよばれたこともなく、一人で生きてきた。結婚など考えたこともない。誰がこんな私を作ったのか」

訴訟の意義を説く高木弁護士

「政府が答弁で、民間人がやったことで国は知らないというのを聞き、あまりの怒りに昨年の七月、申し出た。日本人は歴史を知らなければならない。私が証拠である」

「早く解決したい。私も七十三歳、死ぬまでに解決したい。そして日本人と、互いに人間同士として抱きあって喜びたいのだ」とこもごも訴えた。

そして最後に「三つの願いがある。一つは日本の若い人が慰安婦の問題を教科書で教わるように。第二は多くの人が、まだ事実を語れず苦しみを抱えている。良心の謝罪をしてほしい。第三に賠償金でなく、謝罪金を出すべきである。〝賠償〟なら、日本の土地の全部をくれてもこの苦しみはあがなえぬ」といい「問題の解決を日本人におあずけする」と結んだ。

政府に真の謝罪をさせることができるか。日本人はまさに、今、そのあり方が問われている。

〝地球サミット〟の問題点を洗う
厳正な行動基準を
多国籍企業の責任糾明を

野村さん

「環境と開発に関する国連会議（UNCED）」、通称「地球サミット」が、三日からリオデジャネイロで始まった。

この地球サミットは、一九七三年、スウェーデンで開いた国連人間環境会議（閣僚級）の二十周年を記念して開かれるものだ。

「〝地球サミット〟の課題を一言でいうと、どんな理念（リオ宣言＝地球憲章）と枠組み（地球温暖化防止条約、生物多様性保全条約）のもとに、どのような行動計画（アジェンダ21）で、誰がその経費と技術を負担して、どのような機構で守るのかということだが、これまで進めてきたUNCEDのプロセスが、環境破壊の責任者である多国籍企業の規制について、別建ての枠で討議することもせず、逆に規制排除の方向に進んでいる。これに対して、マレーシアの経済学者マーチン・コー氏は〝そのような地球サミットは、泥棒に扉の鍵を渡すような、道化芝居になるだろう〟と鋭い批判をしている」と野村かつ子（海外市民活動情報センター代表）さんは言う。

野村さんは、コー氏の主張を踏まえながら、地球サミットに対する考えを次のように述べた。

今日のような地球環境危機を招いた責任の多くは、巨大多国籍企業にあることは常識になっている。

「人間の命や自然を経済価値に従属させ、金を求めて走り続けた結果が地球の危機だ」

地球サミットでは、こうした多国籍企業の責任糾明が第一になされなければならないのに、「アジェンダ21」には、企業責任を明確にするような独立した〝章〟はない。こともあろうに、多国籍企業は非政府組織団体として、女性、青年、土着の人々、NGOグループなど、主要グループの権利の強化の章の中に組み込まれているのだ。ということは、多国籍企業の活動を規制するというより、むしろその役割と権利は強化されるべきもの、として、扱われているということだ。

そこにUNCEDが進もうとしている方向がハッキリ現われている。さらには、国連多国籍企業センターの閉鎖や「国連多国籍企業行動基準案」（以下行動基準）の棚上げ、UNCEDの諮問機関として、大会社の代表による「持続可能な開発のための経済人会議」の発足などからも、企業優先の姿勢が見てとれる。

「行動基準が成立していたら……」と野村さんは言う。

行動基準は、国連多国籍企業センターが二十年近くかけて練りあげた多国籍企業の行動に関する国際協定（案）で、消費者の健康と安全を守り、環境を保護するために、当然企業が成さねばならない原理原則をうたったもので、企業そのものの行動を規制し縛るようなものではない。企業優先のアメリカとそれに追随する日本などの反対によって、いま棚上げ状態になっており、同センターは、閉鎖に追い込まれてしまっている。

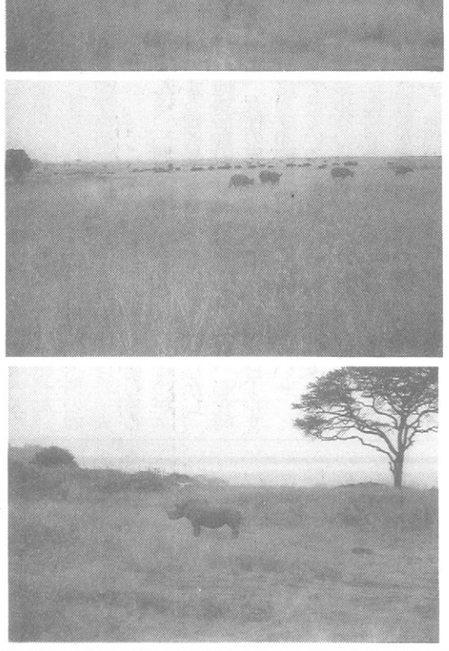
「行動基準が制定されていたら地球サミットもガットも、もっといい方向へ導くことができたに違いない。しかし、政府の権利を解体するガット、多国籍企業の強化へと進んでいる地球サミットの諸原則の方が強くなり、悪化する方向に進んでいる。これを正常にもどすには〝行動基準〟の成立しかない」と。

行動基準の反対からも、企業は安全や環境に真剣に取り組もうとはしていないことが分かる。UNCEDは、環境破壊に対しても企業の自主規制に任せる方向に進んでいる。こうした一連の動きが、マーチン・コーさんのいう道化芝居なのだ。

地球サミットを道化芝居にしないために――

「アジェンダ21」に、多国籍企業と大企業の環境に対する影響と、その公的規制と監視のための行動提案を含めた一章を設けるべき。

地球と人類を守るため、企業の自由と権利は国家と大衆の権利に比べれば第二義的なものである。国家と大衆は環境（破壊）と開発問題をなくすことのできる規制・法律・ガイドラインに従わせる権利を持っているというメッセージを、UNCEDはガットのような他のフォーラムに送るべきだ――と言う。


ケニアの草原で遊ぶ動物たち。地球の温暖化で生物の生態系も変わりつつある

海外通信　ローマ＝⑳　太田 緑

みどりのローマ生活体験記
夏休みは四週間
日本人には無理な話？

そろそろ夏の準備が始まります。七月、八月を中心に、六月から九月にかけてはバカンスの季節。シーズン中の交通機関や宿の手配など、人気のある場所に出掛けるには事前の準備が欠かせません。イタリア人は、海や山に最低でも一週間、多くは三～四週間出掛けるのですが、田舎の古い農家を改造した別荘でのんびりしたり、海辺のアパートを借りたりと、リラックス重点主義です。七月に入れば、家財道具一式を積み込んだ車が街を次々とあとにして、ローマは一年で一番静かな季節を迎えます。著名なレストランの多くは休業し、スペイン広場周辺の老舗も夏休みに入ってシャッターを降ろします。ローマ人の少なくなった街は「観光客」という名の異邦人に占領されるのです。

夏休みと言えば、今日届いた新聞（五月二十八日付け朝日新聞衛星版）に、二週間の休みを取るのに苦労した上級国家公務員の話が紹介されていました。月刊誌に掲載されたという詳細を読んだわけではないのですが、十年以上前の自分の日本での経験を思い出し、日本の職場での休暇を円満に取るために費やすエネルギーの大きさについて考えてしまいました。休暇に出る前のみならず、帰ってからも肩身の狭い思いをしなくてはならない場合がままある事も含めて…。

海外での生活が長くなり、週休で二日も当然のように享受し、気付かないうちにいろいろな生活様式も現地に馴染んだものになってきました。休みを取るのに同僚に気を使い、仕事の算段を行い、お土産を買って帰る。そんなことと、ここでは誰もやってない〟！　日本で働いていた頃はそうした事を当然としていた事も、ほとんど忘れていました。

現在の職場では一カ月働くと二・五日の有給休暇が貰えます。従って十二カ月で三十日（これは、国連機関共通の規定のはずです）。これを週末や祝日など上連続での休暇を取る事も可能です。大方の人は夏に三～四週間、クリスマスやイースターの時期に一週間ずつといったパターンが一般的です。同じような性格の仕事をする人たちの休みが重ならないように調整すれば、どの時期にどのくらい休みをとるかは個人の自由。子供の学校の都合などで制約を受ける人への優先の配慮はあるものの、全員が長期の休みを取るものであるという前提のもとに、夏の長期休暇の計画は立てられます。この他にクリスマスやイースターの時にも調整が行われますが、休みを取る事に関しての干渉は一切ありません。

休暇中の人の仕事についても、おおらかなものです。日常業務のほとんどは、誰かが手伝うように手配してあるので支障はありませんが、それでもたまには「只今、休暇に出ています」という姿勢。めいっぱい残業している日本人には、無理な話かしら。

「出張」による不在も、「休暇」による不在も、不在である事には変わりなく、残ったものがどのように仕事をやり繰りしていくかは、結局はチームワークの問題であり、仕事の量を調整するマネジメントの腕のみせどころなのだと思います。

「全員が長期休暇を取る」という前提が確立すれば、休みを取るためのエネルギーは他の事に使えます。「忙しくて、休みが取れない」「人手が足りない」。程度の差はあれ、こうした状況はどこにもあります。それでも強引ならいに「自分や家族のために、長期休暇を取る」という姿勢。めいっぱい残業している日本人には、無理な話かしら。

野村かつ子さんに聞く

たんぽぽ

PKO法案参院特別委の採決が行われようかという四日の夜、横浜関内ホールで横浜弁護士会主催の「真の国際貢献とは何か―自衛隊の海外派遣と平和憲法を考える」という集会があり、参加者たちは刻々と入る国会情勢を気にしながら、シンポジウムの前座の、ザ・ニュースペーパーの時事コントに腹を抱えていた▼自衛隊の隊長が「整列！」と叫ぶ。「整列ったって僕一人、みんなやめちゃったから」と隊員。「お前の彼女の送り迎えもオレがやってやったんじゃないか」とこん願する隊長。何日か前の新聞に、自衛隊員への応募がへり、なんとか自衛隊にひきとめるため幹部は大苦労の記事が出ていた。それをサッとつかうホットなコントに満場大笑い▼だが、笑いごとではない。違憲といわれつづけながら、戦争なんてマア起こりっこないさ、と、大型免許をとるために、自衛隊に入隊した人も多いのも事実だろう。〝海外出兵〟となれば二の足ふんで、入隊者がへるのは必定▼となると次は徴兵となるのは目に見えているではないか。世界の平和を〝維持〟し〝国際貢献〟のためなら、海外派兵も〝邦人の救出〟に自衛隊機をつかうのも違反でないというのだから、次は国民みんな揃って（もしかしたら、男女同権ですよ、と女性も）貢献しましょう、それが日本国民の責務です、などといい出すのに決っているではないか▼「徴兵は　命かけてもはばむべし　母　祖母　女　牢に満つるとも」。故石井百代さんの歌が朝日歌壇にのったのは、一九七八年九月のことだった。この歌は、またたく間に広まり歌いつがれるようになったが、〝徴兵〟という言葉は、額面通りでなく、反戦平和のシンボルのようにとられていたのではないだろうか。全面戦争の心配が去ったと思われるいま、現実の問題として徴兵がのしかかっている。これは一体何ごとだろう。

農文協　〒107 東京都港区赤坂7-6-1　☎03(3585)1141　各税込定価　●内容見本呈「全婦」係へ

聞き書 大分の食事　最新刊発売中
豊の国―大分 その豊かな味わいを、おばあさんから聞き書伝えるおいしい本！
●日本の食生活全集シリーズ　第45回配本！豊後・大分は、「豊の国」。県内各地の名物料理を紹介。大分市の「ほうちょう」、豊後水道沿岸の「さつま」「かまぼこ」、竹田の頭料理、臼杵の黄飯、きらすまめし…。見て作って楽しめる。☆毎日の朝昼晩の献立から行事食も。☆材料、作り方も写真を添えて。☆冠婚葬祭、行事他。
●既刊・好評発売中　＊定価各2900円　●A5判　★カラー写真豊富
1北海道 2青森 3岩手 4宮城 5秋田 6山形 7福島 8茨城 9栃木 10群馬 11埼玉 12千葉 13東京 15新潟 16富山 17石川 18福井 19山梨 20長野 21岐阜 22静岡 23愛知 24三重 25滋賀 26京都 27大阪 28兵庫 30和歌山 31鳥取 32島根 33岡山 34広島 35山口 36徳島 37香川 38愛媛 39高知 40福岡 41佐賀 42長崎 43熊本 45宮崎 46鹿児島 47沖縄　■7月14神奈川刊行予定
★あと一年で完結です！・●シリーズ全50巻！
隔月刊予定 14神奈川 29奈良 48アイヌ 49・50索引
▲だんご汁（日田市）

●爽やかで、味のある新刊！
薬味とスパイス自由自在　浅田峰子著　●レシピがふえる味が広がる　基本スパイスの使い方からハンパ野菜の変身の知恵まで、香味の食卓演出法紹介　＊1350円
もっと気ままにベジタリアン　垣本　充著　●魚も食べて菜食健美　日米英インドのベジタリアンの食事とエコロジカルな生き方に学んだ、新しい菜食法。＊1250円
図解 プランターの野菜つくり　山田貴義著　●慣れる楽しむコツのコツ―PART①　ベランダ、キッチンで楽しめる誰でもできるプランター野菜つくり！＊1350円
家庭菜園コツのコツ　水口文夫著　●プロが手ほどき家庭菜園宝典　52種の野菜別に、主な作業からおさえどころまで、コツと工夫を紹介！　＊1350円
自然流「日本酒」読本　福田克彦文・北井一夫写真　個性豊かなホンモノの酒づくりにこだわる全国の蔵元を訪ね紹介する真心吟醸の写真ルポ！　＊1700円
幼年記かがやく大気のなかで　笹山久三著　●はるかな四万十川　遠い山の家　豊饒な自然と人々の真直ぐな情愛につつまれ、貧しくもかがやいていた幼い日　＊1300円

〝お茶の間〟も真剣に考えている。
アメリカ主要大学でのアンケート・ディベートからマスメディアでは無視されがちな〝アメリカの本音〟を白日のもとにさらけ出し、新しい日米関係を求めて〝普通の父と娘〟が世代を超えて語り合った！
父娘で語る日米問題　若者にできること、大人がすべきこと
上智大学教授　加藤幸次・加藤美和 著　定価1,400円（税込）
大栄出版　〒171 東京都豊島区池袋2-24-3　TEL.03-3982-6726 FAX.03-3984-4276

3段式料理カード本
2万4千通りの組み合わせが自由にできる話題本
小林カツ代　おべんとうのシステムおかず　最新刊
リングでとじた上中下3枚の料理カードを組み合わせるだけで自動的に栄養バランスのよい献立ができます。作り方は各品4行以内。
好評発売中　簡単おかずでおいしい献立　久松育子
7月刊　やせたい人のバランス献立　宗像伸子
お通し・おつまみ・ご飯もの　鈴木登紀子
☆各巻2400円（税込）
群羊社　〒113東京文京区本郷2-12☎03-3818-0341

有斐閣
女性学への招待　変わる／変わらない　女の一生　井上輝子著　〈有斐閣選書〉　日本に女性学が誕生して20年。この間の研究成果を駆使して、女として生まれた人の人生が、男とどのように違っているのか。それはなぜなのか。女性学を日本に定着させることに力を注いできた著者からのメッセージ。四六判カバー付二一八頁　定価一五四五円
女性のデータブック　井上輝子・江原由美子編　A5判　定価二九八七円
「母性」を解読する　グループ「母性」解読講座編　〈有斐閣選書〉定価一七〇〇円
セクシュアル・ハラスメント　中下裕子ほか著　定価一五四五円
性の法律学　角田由紀子著　〈有斐閣選書〉　定価一五四五円
〒101 東京都千代田区神田神保町2　☎03(3265)6811（定価は税込です）

情報スクランブル
読者のひろば

みんなのページです。言いたいことや、知らせたいことがあったら、どんどん投稿して下さい。

編集部 電話 03(3343)1846 FAX 03(3348)1890

バスクの歌声を聞こう
聖イグナチオ少年少女合唱団 日本全国で公演へ

「ヨーロッパ眠られぬ駅」のCMでおなじみ、スペイン、バスク地方に生まれたスペイン型イグナチオ聖少女合唱団が、この月末から6月にかけ、日本全国で公演。公演は月月火水木金土日の8日間。東京・学習院大付属小学校をはじめ、北海道の熊本まで、日本全国で二十数カ所。

チケット販売は開演一週間前。一般大人の公演で、7月13日（月）午前11時、新宿文化センター。チケット8,000円（S）、6,000円（A）。スタンドエルの問合せは三橋の日本総合代理店、☎03(3343)1846。

美智子さんの「私のバスク物語」の著者は興味深い。現在化学センターの公演は同さんに連絡すると五百円の割引券サービスがある。

もちろん今度の公演が初めてのバスクの人たちの公演だ。

ピレネー山脈の麓、スペイン、ビスケー湾に面した北部地方。ケルト人の末裔といわれるバスク人は、言語、民族、文化、宗教、音楽、民俗学、人類学、遺伝学、言語学、考古学、歴史学、民族学、人類学、言語学、考古学、歴史学、民族学、人類学、言語学、考古学、歴史学、民族学、人類

どうなる？世界一の高福祉

スウェーデンの現状と問題点をきくセミナー

基本姿勢は変わらず

人材と財政難　代案さがしが課題

昨年、政権が交代、世界一といわれる福祉のあり方が変わるのではないかと懸念されているスウェーデン。そのスウェーデンの現状と問題点をきくセミナーが開かれた。語るのは、スウェーデン・ウプサラ大学ヘルス・リサーチ研究所長・ビョン・スメドビィ教授と医者のパーブロ・スメドビィ夫人。〝福祉で理想的な国づくりをすすめてきた国の基本は変わらない〟というが、経済にかげりがみえるいま、これ以上の高福祉は困難なようだ。（主催・ウェルエージング協会　4月14日、於、東京銀座・文祥堂ホール）

中川課長の質問に答えるスメドビィ博士夫妻

スメドビィ博士は、社会医学の権威で国際的に知られている人。スウェーデンの福祉の特徴として①ほとんど無料の公的社会サービス②強制的社会保険のシステム―所得を失った時の手厚い保護③これらのコストは税金と企業（使用者）の拠出金であり、これは病者、高齢者のケアは社会全体が面倒を見るべきだ、そしてその仕事は専門的訓練をうけ、資格を持つ人がやるべきだという三つの原則で運用されてきた。今後、それがつづくかどうか疑問視されるのは①超高齢者がふえ、資金源（現役の働く人）がふえない②政府が四十年間の社民党からより保守的な自民党へかわった③不況④'95年ECに加盟するがECとの調整でこれ以上の増税はむずかしい、からだ。

五〇―六〇年代は施設ケアがいいと思われていた。どんどん施設を作りベッド数は二十一倍になった。老人ホームは七〇年代で、ナーシングホームは八五年増加がとまった。在宅福祉のよさがわかったからだが、サービスホーム（市からアパートを借りて住み、在宅と同様のホームヘルプを受ける）が急激にふえている。在宅医療、ケアは拡充し、ナイトパトロール、緊急通報システムなど新しいサービスが導入された。

今日のこのケアの質を十年維持しようと思うと、これから職につく若い人の全員を介護労働にまわす必要がある。六〇―七〇年代、専業主婦たちの多くが介護労働の職業につくことでりぬけた。今、全女性の八一％が働いており、ほとんど男性と同率で、新たに介護労働にたずさわる人材源がない。もう一つは財源不足で、高齢者ケアのコストは上るばかりだが、これ以上増税は不可能であり、九〇年代は経済成長率は低いという予測もある。

これからの十年は人材難財政難の代案を見つける十年だ。ことしからさまざまの改革がうち出された。より多くの権限が県から市町村に委譲され、民間の活用また元気な前期高齢者がボランティアワークするなど。退職年齢をひきあげようという動きも。それらの改革が成功かどうか断じるのはまだ尚早である。さまざまな変化はあるが、スウェーデンの福祉の原則は基本的に維持されるだろう。この話につけたす形で、医師であるパーブロ夫人から「どの老人も〝在宅〟をのぞんでいる。しかし一人暮らしの老人には孤独にたえられぬ人もあり、ウツ病から疑似痴呆に至る人も多い。勢いホーム・ビジットは長時間化する」と高齢者の心理と介護の手間、ひまの増加を説明。

そのあと、厚生省老人福祉課長で、八一～八四年にかけてスウェーデンに滞在した中川秀一さんが質問者として質疑応答。中川さんはこの八年間のスウェーデンの変化は、日本の老人問題の担当者としてもひとごとではないという。その中川さんの質問にスメドビィ博士は「今年の改革で、多くの高齢者がよくなっても退院しない（ベッドブロカー）状況は改善されるかもしれない。しかし、よくならないのに出されてしまう心配も出てきた」。

「施設に入っている年寄りの方が健康状態がよくないという統計がある。これは逆にいえば状態が悪い人が施設に入るということであり、介護者の負担がふえている」「外国人労働者はドイツのように労働力不足でも経済は強くならないという」。

昨年以来、年金の給付を下げようという議論が起ってきた。今、六十五歳、三十年間働くと満額、最終所得の七〇～七四％が年金としてもらえる。

六十七歳からにしよう、四十年間で満額、あるいは額をへらし、たりない分を民間の保険にしろとか。論議がかまびすしい。しかし、「社民党がEC問題にしても二つに意見が分かれているような状態なので、現政権が再選されても不思議はない。しかし、現政権は四つの党の連立なので崩れる可能性もある……」と理想のスウェーデンの高福祉が崩れる可能性も、またその逆の可能性もあると、見通しは慎重だった。

スウェーデンの福祉の将来見通しについては慎重だった

女の目で視る ―30

「紅夢」――中国映画

映画「紅夢」は、一九八九年に中国の二十九歳の作家が書いた小説『妻妾成群』が原作だという。時代は一九二〇年代、十九歳のヒロイン頌蓮（スンリェン）が継母の頼みで、素封家に嫁ぐところから始まる。

「金持の所へ嫁げばいいんでしょ」「妾だって仕方がないじゃない。他に生きる道などないわ」と、冒頭から頌蓮は自分を捨てたような言い方をする。頌蓮は父親が急死したので大学を半年でやめ、親の年ほどの男の第四夫人になったのだ。

大旦那である男の姿は、正面切って大写ししないことで、個人であるより家や権力の象徴として描いているが、その男の訪れの多い女が、邸内では力を持つ。となれば、女たちの世界は嫉妬や裏切りや告げ口、仕返しの日常となって、一年後、頌蓮は狂ってしまう。

大旦那が泊まる家につるされる提灯の赤、官能を刺激するための足打ちの槌の音などは、張芸謀監督の創作だそうだが、色彩や音や雰囲気で想像をあおる映像化には感服した。が、それ以上の感動は、このヒロイン故に沸いてこなかった。

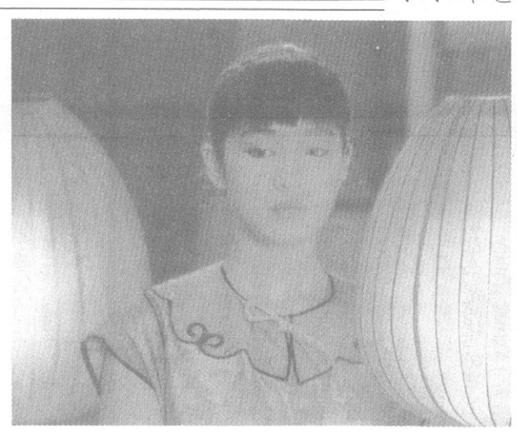
映画は第五夫人の登場で終るのだが、若い女性が初めから妾の立場に甘んじて生きる背景を、納得させるだけの説得力が無かった。

頌蓮はプライドを傷つけられると目の前の相手だけに当たり散らし、大学をやめた理由も「学問なんて無駄よ。女は男にとって服と同じ。好きなときに着て、捨てられる」と答えて自暴自棄になっている。

自分の人生をあきらめていては、見るべきものも見えず、自滅するしかない。

「見えているものをきちんと見る勇気、感じてはいけないことをきちんと感じる勇気をもてば、人生変わりかけます」――田嶋陽子『フィルムの中の女』（新水社）

鈴木陽子



エンジョイスパイス

誰でもできる世界の料理

▶71◀

東南アジアは、スパイスの栽培が盛んで、スパイシーなおかずでご飯を食べる国が多くあります。インドネシアもその一つです。

インドネシアは、日本でもよく知られたスパイスは勿論のこと、この国独自のスパイスも生産し、使っています。この国の料理に、重層的なスパイスの味わいを感じるのは、そのためです。

今回は、なかなか食べにくいレバーを、インドネシア料理の副菜のベース、『サムブラン・ソース』で煮込んだ「レバー炒めサムブラン・ソース煮」です。

〈サムブラン・ソース〉

（1¾カップ分）

【材料】

サラダ油…大さじ2

ブラックペパー…小さじ1/3、ガーリックパウダー…小さじ1/6

【作り方】

①レバーはよく洗い、一口大に切りクッキングペーパーで水気をとる。

②厚手の鍋にサラダ油を熱し、レバーにブラックペパー、ガーリックパウダーを加えて炒める。

③トマトは1cmの輪切りにしてから1cmの角切りにして②に加える。

④サムブラン・ソースを加え、中火で焦がさない程度に煮込む。

〈ワンポイントアドバイス〉

レバーの臭みが気になる場合は、下ごしらえ時に〝カレーパウダー〟や〝ガラムマサラ〟を軽くふっておくのも良いでしょう。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／料理指導・長瀬峰子）

レバー嫌いな人も食べられます。ココナツミルクの味が印象的です

玉ねぎは、スパイスを加えこがさないようにていねいに炒めます

レバーを食べやすく

インドネシアのソースで煮込む

【材料】（4人分）

レバー…400グラム、サラダ油…大さじ2、トマト…1個、サムブランソース…1¼カップ、ブラックペパー…小さじ1/3、ガーリックパウダー…小さじ1/6、玉ねぎ微塵切り…2/3カップ、ガーリックパウダー…小さじ1、ベイリーブス…2枚、トラシ（塩漬け小えびのペースト）…小さじ1¼、レッドペパー…小さじ½、ライムの皮（すりおろしたもの）…小さじ2/3、ジンジャーパウダー…小さじ1、塩…小さじ1、※ココナツミルク…1¾カップ、※※タマリンド水…大さじ2½

【作り方】

①フライパンにサラダ油を熱し、玉ねぎ、ガーリックパウダー、ベイリーブスの葉を入れ、焼き色をつけない程度に炒める。

②トラシを加え、レッドペパー、ライム、ジンジャーパウダー、塩を加えよく混ぜる。

③ココナツミルク、タマリンド水を加え、強火で煮立たせ5分くらい煮詰める。

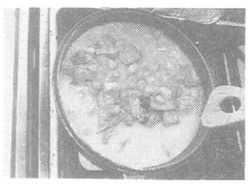
※〈ココナツミルク〉

パウダーを使ったり、細かく刻んだココナツに、同量の湯を加え、裏ごし器と布巾を使って汁をしぼり、ココナツミルクを取る。

※※〈タマリンド水〉

タマリンドの果肉の代わりに梅干しを使う。梅干し大2個に熱湯½カップを加え、梅干しをよくしごいてから、種を除いて茶こしでこす。

〈レバー炒めサムブラン・ソース煮〉


作ったサムブランソースは最後に加えます。焦がさないように中火で煮込んでいきます

出かけてみませんか

6月

▼島岡達三作陶展

17日(水)～29日(日)10時※火曜休館　西武アート・フォーラム（西武百貨店池袋店8階）　新作200余点を展示

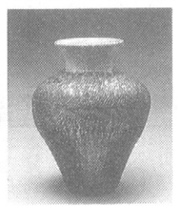
入場無料

▼「J・トレンツ・リャド展」

17日(水)～7月12日(日)10時～19時※6/23休館　船橋アート・フォーラム（西武百貨店船橋店10階）　早熟なスペインの天才画家リャドの油彩画30点、版画20点を紹介　一般500円（400）、大・高生300円（200）（）内団体10名以上料金、シニア、中学生以下無料

▼東京都女性情報センター映画会『インディア・キアバレー』

20日(土)17時　東京都女性情報センター　ミーラー・ナイール監督、インド国際映画祭上映作品、ドキュメンタリー・フィルム　無料　60名　申込み…同センター☎03・3235・1140


「窯変象嵌縄文壺」島岡達三

王妃の中庭　リャド　'91油彩

サランラップクイズで当たる

ビッグな夏休み

夢のフロリダ&カリブ海の旅

ペアでプレゼント

"E.T."、"キングコング"、"大地震"…etc. 大ヒット映画のハイライトシーンをリアルに体験できる、いま話題のユニバーサルスタジオ・フロリダへ。そのうえ、憧れのカリブ海のワンディクルーズやディズニーワールドまで楽しむ夢の8日間。さあ、サランラップクイズに答えてお二人で、ビッグな夏休みをお楽しみください。

The E.T. character and Universal Studios Florida are registered trademarks of Universal City Studios, Inc.

ユニバーサルスタジオで映画体験！

ロマンいっぱいカリブ海ワンディクルーズ

金賞　〈賞品〉クイズ正解者の中から抽選で…

夢のフロリダ&カリブ海の旅（8日間）

ペアで30組（60名様）に当たります。

●締切り　平成4年6月20日(土)　当日消印有効

銀賞　3万円旅行券（JTBギフト券）200名様にプレゼントします。（銀賞のみのご応募も可能です。）

サランラップクイズ

問題：○の中に当てはまる"ことば"を入れて文章を完成させてください。

皆様のご愛顧に支えられて、おかげさまで○○○セラー。

品質の良さで選ばれているのは、

○○○樹脂でできたサランラップです。

（ヒント）この広告の中にあるサランラップの"商品写真のそば"をごらんください。

●賞品：クイズ正解者の中から抽選で…

金賞：夢のフロリダ&カリブ海の旅（8日間）ペアで30組（60名様）に当たります。

銀賞：3万円旅行券（JTBギフト券）200名様にプレゼントします。

※銀賞のみのご応募も可能です。

●応募方法／官製ハガキに、クイズの答えと右記の必要事項をご記入のうえ、お送りください。（銀賞のみのご応募の方は"銀賞希望"とご記入ください。）お一人様何通でもご応募いただけます。金賞につきましては、18才以上で旅行に参加可能な方に限らせていただきます。（当社関係者の応募は遠慮願います。）

●クイズの答え　○○○　○○○

銀賞のみの応募の方は"銀賞希望"とご記入ください。

住所

氏名　年齢

職業

電話番号

（記入例）

●応募期間／平成4年4月20日(月)～6月20日(土)当日消印有効

●応募先／〒101-91　東京神田郵便局私書箱198号　サランラップ「夢のフロリダ&カリブ海の旅」プレゼント　P10係

●抽選・発表／クイズ正解者の中から厳正な抽選を行い金賞を決定し、さらに残りの方から銀賞を決定いたします。金賞はご当選者に直接ご連絡し、平成4年7月下旬、新聞にて発表いたします。銀賞は発送をもって発表にかえさせていただきます。

●旅行催行日／平成4年8月中旬～下旬、成田空港より出発予定。（ご当選者に当社よりご案内いたします。）

●旅行主催／日通旅行（日本通運系）

〈ご注意〉●旅行の権利はご当選者本人とし、お二人で旅行をお楽しみいただけます。権利の譲渡や現金との引換えはできません。●日本国内の交通費、宿泊費、渡航手続き費用は、ご本人の負担となります。

皆様のご愛顧に支えられて、おかげさまでベストセラー。

Saran Wrap 30cm・20m　サランラップ

品質の良さで選ばれているのは、サラン樹脂でできたサランラップです。

旭化成／サランラップ販売株式会社

〒100　東京都千代田区有楽町1-1-2　TEL 03(3507)2868

®は登録商標を示します。